

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久里浜港プロジェクト	階数	地上3F
建設地	横須賀市久里浜8丁目2567-66、2567-72、2567-73、2567-53	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年
建物用途	物販店,飲食店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2016年4月8日
敷地面積	4,605 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社千都建築設計事務所
建築面積	1,565 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,976 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	港湾地区に建つ物販店・飲食店・公衆浴場の複合施設である。景観に配慮するとともにアミューズメント施設として利用者の利便性に寄り添う施設を目指した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
機械室や便所からの騒音対策として、内壁にALC板や遮音壁を採用している。また、空調設備はある程度のゾーン分けを行い、喫煙ブースによる分煙も行っている。	バリアフリー計画はバリアフリー法に適合するものとし、内装計画は建物に求められている機能(物販店や飲食店、公衆浴場)が明確である。また、港湾地区のため空調室外機に重耐塩仕様を採用や屋外鉄部は溶融亜鉛めっき処理としている。	まちなみ・景観への配慮として、横須賀市景観計画の基本指針及び色彩基準に配慮している。また、屋外広告物の許可基準に適合する計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建築外皮はBPI <sub>m</sub> =0.86とし、熱負荷抑制を行う。設備システムはBEI <sub>m</sub> =0.77であり、高効率化を図っている。	水資源保護の観点から節水型便器を採用している。また、なるべくリサイクル資材の採用を検討する。部材再利用促進のため、解体時に躯体・仕上材・設備が分別可能となっている。	交通負荷抑制のため、適切な駐車台数の確保や荷捌き用車両スペースを確保している。なお、緑化計画は無し。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される